

本日〈7月30日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「手に手つないで」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「今後のスリランカ支援について」
矢野 修二 会員



写真提供 角田 伯雄

司会 馬場 佳子 副幹事

点鐘 小山 市康 会長

斉唱 「それこそロータリー」
ソングリーダー 池田 広樹 会員

四つのテスト 森永 健 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 佐野 仁 様 (神奈川県東ロータリークラブ 会長)
宇都 章一 様 (神奈川県東ロータリークラブ 幹事)
二瓶 則子 様 (横浜港北ロータリークラブ 会長)
島山 浩一 様 (横浜港北ロータリークラブ 幹事)

特別行事

◆ 神奈川県東ロータリークラブ表敬訪問



神奈川県東ロータリークラブ 会長 佐野 仁様、幹事 宇都章一様

2021-2022年度 RI会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2590地区 ガバナー 小倉 正

会 長	小 山 市 康	会 計	白 井 康 夫
会長エレクト	赤 堀 伽 寿 一	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	横 溝 亘	S A A	古 澤 一 憲
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	加 野 亮 一
幹 事	友 添 辰 哉	副 S A A	吉 田 隆 男
副 幹 事	馬 場 佳 子	クラブ会報	清 水 茂 夫

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

◆横浜港北 R C 表敬訪問



横浜港北 R C 会長 二瓶則子様、幹事 畠山浩一様

結婚記念日祝

角野 弘幸 会員 (7月20日)



会長報告

小山 市康 会長

- ・7月度定例理事会・臨時理事会の報告
- ・地区より、前年度の米山奨学事業への地区目標達成のお礼状が届いておりますのでご報告申し上げます。

幹事報告

友添 辰哉 幹事

- ・理事会にて承認されました他地区被災地支援のための募金箱を本日と次々週に回しますのご協力をお願い致します。
- ・次週例会は祝日のため休会となります。また次々週7/30の例会は通常例会に変更になっておりますのでお間違えないようよろしくお願い致します。

誕生日祝

長野 毅 会員 (7月21日)
 天野 公史 会員 (7月22日)
 青柳 紀 会員 (7月29日)



出席報告

北村 大輔 出席委員長

会員総数	49名	(29+20)名	
出席会員数	41名	(27+14)名	
出席率	95.30%		
ゲスト	4名	ビジター	0名
前回補正後	95.56%	前々回補正後	95.46%

スマイルボックス

古澤 一憲 SAA

神奈川 R C 会長 佐野 仁様 本日は新年度のご挨拶に伺いました。直前ガバナーの吉田様にはありがとうございました。小山会長様、友添幹事様、よろしくお願い致します。
 神奈川 R C 幹事 宇都章一様 小山会長、友添幹事、先日は神奈川 R C へご来会いただき、ありがとうございます。本日はお世話になります。
 横浜港北 R C 会長 二瓶則子様・幹事 畠山浩一様 1年間、よろしくお願い致します。

青柳 紀君 80過ぎてからの誕生日はあんまり嬉しくないねー
 天野公史君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。高齢者へリーチです。1歳違うとどのようなことが変わるのか、興味津々です。②神奈川 R C 佐野会長・宇都幹事、横浜港北 R C 二瓶会長・畠山幹事、ようこそいらっしゃいました。
 長野 毅君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。
 角野弘幸君 結婚記念のお祝いを頂き、ありがとうございます。
 小山市康君 佐野会長、宇都幹事、本日は大変ありがとうございます。二瓶会長、畠山幹事、お世話になります。皆様ごゆっくりなさって下さい。
 鴻 義久君 神奈川 R C 佐野会長・宇都幹事、横浜港北 R C 二瓶会長・畠山幹事、ようこそお越し下さいました。
 山本 登君 所用にて早退致します。
 伊東英紀君 暑くなりました。
 山本芳弘君 神奈川 R C 佐野会長・宇都幹事、港北 R C 二瓶会長・畠山幹事、ようこそいらっしゃいました。一年間のご活躍をお祈り致します。

～南瓜の花～

花言葉は、「廣大」。
 南瓜の大きさは品種によっては1m以上にもなり、その悠々とした存在感からその名がついたと言われています。

【写真提供 角田 伯雄 会員】

表紙の写真 T3



友添辰哉君 神奈川RC 佐野会長・宇都幹事、横浜港北RC 二瓶会長・畠山幹事、ようこそいらっしゃいました。二瓶さん、宇都さん、近々にゴルフしましょうね。

西山 潔君 山本登先生、色々とお世話になりまして、心より御礼申し上げます。タイガースは嫌いですが、山本先生は大好きです♡

角田伯雄君 早退します。

茂木知子さん ~副反応~ 2回目のワクチン接種を12日に済ませ、安心しています。20代前半のスタッフがこんな会話をしていました。「SNSでは、若い女性が接種して副反応が出ないと馬鹿にされる。若くないという証明みたいなものだ」という内容です。何を隠そう私も2回目の接種に副反応とみられる症状が出ました。接種翌日、午前中は腕が痛いくらいでしたが、午後になると関節が痛み出し、夕刻には熱が出て寝てしまいました。若い女性という証拠でしょうか。

加野亮一君 梅雨明け、嬉しいのか、嬉しくないのか・・・

馬場佳子さん ①神奈川RC 佐野会長・宇都幹事、ようこそいらっしゃいました。②横浜港北RC 二瓶会長・畠山幹事、本日はありがとうございます。③7/3に第一回ワクチンを接種しました。9日目の夜に腕がムキムキマンのように腫れ、今はやりのモデルアームを経験しました。

北村大輔君 佐野様、宇都様、二瓶様、畠山様、ようこそ。

池宮寿治君 急に暑くなりましたね。体調には気を付けていきましょう。本日は所用により中座させていただきます。

川崎典子さん どうぞよろしくお願いいたします。

7月16日	21件	67,000円
本年度累計		226,000円
年度目標進捗状況		+47%

新年度挨拶

◆職業奉仕委員会 委員長 森永 健



今期、職業奉仕委員会の委員長を拝命致しました森永です。

副委員長には大先輩の月山会員、委員には須永会員、山崎会員、田口会員という布陣です。

活動としては、第一例会での「4つのテスト」の唱和を例年通り行い、会員の奉仕の精神の継続を図ります。

新型コロナウイルスと、ワクチンの浸透、緊急事態宣言の状況にもより見送られる可能性があります、クラブフォーラムは実施したいと考えます。

優良職場訪問は新型コロナウイルスの影響が大であると思われる、移動方法、移動例会の場所の設定、訪問先等について慎重な検討が必要であり、前期に続いて中止が懸念されますが、訪問先の選定だけは行っておく予定です。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

◆社会奉仕委員会 委員長 岡部雄一郎



今年度、社会奉仕委員長を仰せつかりました岡部です。どうぞよろしくお願いいたします。

地域社会の対外的活動をロータリークラブとして、何ができるか、何が必要かを会員の皆様と考え、コロナ禍の中ですが奉仕活動を実施していきたいと思えます。

神奈川県区民まつりがweb配信による開催となりましたので、反町公園・アイスアリーナ周辺での清掃活動に切り替えて計画・実施を行いたいと思えます。

また、岸根公園花壇の花植えの実施、新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第では、前年度に引き続き、区内小学校に消毒アルコール等々寄贈を検討・模索していこうと思えます。

社会活動が部分的に制限される中で、実際に出来ることを見つけて実施していきたいと思えますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

◆国際奉仕委員会 委員長 金森 欣一

今年度の国際奉仕委員会の委員長を拝命致しました金森です。どうぞよろしくお願いいたします。

委員会のメンバーは副委員長に植田会員、委員に青柳PP、伊東PP、池田会員、吉橋会員という布陣です。

2021-22年度のR Iテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と我がクラブのテーマ「奉仕の喜び、明日へつなげよう」を踏まえ、活動してまいります。



2020年初頭より広がり始めたコロナ禍は、1年半経った今も収束はおろか拡大する一方です。海外との往来も色々と制限されており、姉妹クラブや友好クラブとの交流にしても、今までの様には出来ませんし、スリランカへの井戸の寄贈にしても、神奈川区民まつりのwebによる開催や朝日会員の退会、OWOPの鈴木様の体調などにより、従来やってきたことをそのまま踏襲するには難しさが伴います。

我がクラブには2007年に姉妹クラブを締結した台北滬尾ロータリークラブ、同じく2007年に友好クラブを提携したマレーシアルーヤンロータリークラブがありますが、両クラブとの交流は2019年の春に当クラブから両クラブを訪問したのを最後になっています。この時期を有効な転機ととらえ、これらのクラブとの友好関係を維持しつつ、過去の経緯をしっかり把握することに努めたいと思います。

コロナ禍の影響で残念ながら2019-20年度のハワイ大会、2020-21年度の台湾大会と2年連続で国際大会が中止となりました。来年6月の状況は予測出来ませんが、ヒューストン大会には数多くの会員と参加できればと祈っています。

どうぞ1年間、よろしくお願い致します。

◆青少年奉仕委員会 委員長 中野 真理



青少年奉仕委員会では、鴻会員、山田会員、横溝会員、大橋会員という大先輩方と会員皆様にサポートをいただき、活動を推進して参りたいと思います。

当委員会の使命は、様々な組織・プログラムを通じて青少年や若い世代の社会人がリーダーシップを伸ばせるように支援す

ることです。本年度は、新型コロナウイルス感染の拡大、及び関連した社会情勢の変化に伴い、何かと行動が制約される可能性はありますが、行動制約の影響を大きく受けている青少年のためにも、委員会の使命に背くことなく、柔軟に手段等を含めて可能な取組みを模索・実現していく所存です。

まずは、本年度は開催となった神奈川区少年少女ソフトボール大会に協賛して参ります。また、神奈川区役所と協賛した「B-SKY FES」については、ネット開催等の予定ではございますが、その協賛・協力方法を含めて、検討を進めて参ります。

その他にも、次世代を担う青少年たちが、社会に貢献できるような取組みがあれば、何らかの形で支援ができないか、検討する予定ですので、取組みについて心当たりのおありの方は、情報提供いただくと幸いです。

未熟者な委員長ですが、一年間よろしくお願い致します。

◆SAA 古澤 一憲



今年度SAAを仰せつかりました古澤でございます。一年間よろしくお願い致します。副SAAは吉田会員、加野会員です。吉田会員からはガバナー訪問で感じた各クラブの良いところを参考に運営していきたいと思っております。活力豊富な加野会員とともに活動していきたいと思っております。

☆例会場の管理

コロナ禍の中、皆で集まれる喜びを感じて頂きたいと思っております。ビジターや会員の方々に心地良い時間を過ごしてもらえよう、円滑な例会運営に努めて参りたいと思っております。

その為には食事の内容は重要と考え、5月にホテル担当者及び、料理長との会談を致しました。メニューや食材に拘り提供していただけるように要請しました。近隣クラブの例会開催状況も確認した上で例会運営をしていきます。

☆スマイルについて

目標は230万円と例年通りです。ご協力をお願い致します。

☆結婚（入会）記念日・誕生日の記念品

結婚（入会）記念日はホテルキャメロットジャパン商品券です。誕生日は折りたたみ傘を用意致しました。

☆テーブルミーティング

一年間に3回、3つのテーブルに分かれて話し合ってください。新入会員の方々は他の会員との素晴らしい交流がはかれると思います。積極的に参加いただきたいと思います。7月～10月のテーブルミーティングのテーマは「会員増強」(143P) 参加会員の皆様にはロータリーガイドブックをミーティングに持参して頂きたいと思います。

各テーブルマスター・サブマスターは以下になります。

<第一テーブル>

マスター 白鳥 厚夫 サブマスター 中野 真理

<第二テーブル>

マスター 田中龍太郎 サブマスター 北村 大輔

<第三テーブル>

マスター 山田 正憲 サブマスター 西山 潔

◆プログラム委員会 委員長 茂木 知子



プログラム委員長を仰せつかりました茂木です。

このコロナ禍で、卓話を引き受けてくださる方も限定され、苦慮しております。また、この数年、休会などの予定の急遽変更など、前任者の苦労を思い浮かべます。今年こそ、ワクチン接種により、コロナ禍の改善が認められ、通常の例会に戻れることを願っています。1年間よろしくお願ひ致します。

本日、例会開催前に委員会を開催してまいりました。私自身の年間のテーマは、「歴史」です。個人の歴史、地域の歴史など関連の方々に卓話を依頼致しました。

1. 地名、地形と水害の話
2. 神奈川宿歴史ボランティア
3. お台場の話
4. 紙芝居スタルヒン球場

などを予定しています。その他、FBで知り合いになった方、動物関係、菊名記念病院の心の先生、落語家、講談師などお願ひしております。

力不足のため、いわゆるビックネームの方がおられないため、物足りなく感じられるかもしれません。お力をお貸し頂きたいと思ひます。

また、スポーツ関係の方も予定がございません。同様にお力をお貸し頂きたいと思ひます。

1年間、有意義な楽しい卓話をお送り出来るように、会員の皆様のご協力とともに、努力していく所存であります。

ロータリーニュース

フィンランドの退職した医師、 新型コロナワクチンを数千人に接種

ー熱心なワクチン投与ボランティアが2人いると…？ー

新型コロナワクチンが間もなく承認されるというニュースがフィンランドで流れ始めた1月初旬、同国の保健当局は、沸き立つ国民に対し、ワクチン供給と投与者の訓練に時間がかかることを伝えていました。

共に退職した医師であるマッティ・ホンカラさんとビルピ・ホンカラさんのご夫妻は、ワクチン投与者が不足する可能性について知り、ボランティアとして活動するために地元の医療責任者に連絡しました。

引退前は外科医やメディカルディレクターとして活躍し、現在は国際ロータリー理事、そしてRaaherロータリークラブ会員として活動するビルピさんは、誰もがすぐにもワクチン接種をしたいと感じていたと、当時の状況を話します。

マッティさんは、ロータリーのポリオプラス国別アドボカシーアドバイザーを担うPietari Braheロータリークラブの会員で、内科医主任として活躍していました。そして、二人とも医師免許を保持していました。

「ワクチン投与者が不足すると、ほかの分野から人を引き抜かなければならず、そうすると医療サービスが停止してしまいます」とビルピさん。「私たちなら、必要なときにどこにでも駆けつけることができると思ったんです」

お二人には予防接種キャンペーンを管理した経験があります。2009年のH1N1(豚インフルエンザ)発生時には、一般市民への大規模なワクチン接種に先立ち、約1,000人の医療従事者へのワクチン接種を監督しました。

「引退してから何年か経っていますが、ワクチンを接種する方法は知っています」とビルピさんは話します。

熱心なワクチン投与者が二人いれば

4月末までにホンカラ夫妻は、地元と2つの小さな自治体で5,000人以上にワクチンを接種しました。ビルピさんの推定では、この数はこの地域のワクチン接種の約半分を占めます。

これらの地域では、75歳以上の高齢者の大半を含む約4分の1の人がワクチンの初回接種を受けました。60歳以上の方も、

5月の時点で予約できるようになりました。

「二人の熱心なワクチン投与者がいれば、かなりのことができる」とマッティさんは話します。ワクチン接種の展開に人びとは安心してはいます。ビルピさんも、「みな嬉しく、感謝している」と話します。

また、ビルピさんはロータリークラブにもこの活動に参加してもらいたいと考え、マッティさんも、ワクチンの重要性をアピールしたいと考えました。

「これは私たちのロータリープロジェクトであり、地域社会のプロジェクトでもあります」とビルピさん。「ロータリー会員は、新型コロナやポリオなどの予防接種を熱心に推進しています」

お二人がそれぞれ所属するロータリークラブの会員は、予防接種会場でボランティアとして案内係や駐車場係を務め、予防接種センターに改装された廃校で訪問者の出入りを誘導しました。学校のレイアウトはほかの会場よりも複雑だったため、会場ボランティアの存在は大きな支えとなりました。

フィンランドのワクチン戦略

フィンランドでは、保健省が国の予防接種戦略を決定しています。フィンランドで最初に利用可能となったファイザー製のワクチンは、約マイナス70度で保管しなければならないため、コールドチェーンが必要となります。

ワクチンはドライアイスの入った大型容器に詰められ、製薬工場から首都ヘルシンキまで空輸されます。

その後、人口や必要性に応じて各地域に分配されます。各地の医療責任者や看護師は、ワクチンが入手可能になった時点で予防接種の予約を受け、大学病院がワクチンを自治体に配布します。Raahe地域のワクチンは、約75km離れた大学病院から供給されています。

1月初旬、ホンカラご夫妻は主に第一線で働く医療従事者にワクチンを接種しました。2月に入ってからは、高齢者施設での予防接種を支援し、ワクチン供給が増えると週に数日、地元の病院や隣の2つの町の診療所でも予防接種を行うようになりました。

「最初の頃は、あっという間に1日が終わってしまいました」とヴィルピさんは振り返ります。

「予約を管理する看護師は、10分に1人という割合で予約を調整していました。きっと、私たちが高齢なので、接種ペースはゆっくりになると思ったのでしょうか。廊下をあんなにゆっくりと歩くことができたのは、このときが初めてでした。その後、看護師は私たちがもっと多く接種できると考え、5分に2人というペースに変えました」

ワクチン接種の活動は、孤立感からの解放にもなっているとビルピさんは言います。

「近所の人、職場の同僚、かつての患者などが予防接種に来ているのを見たり、会ったりしています。外科医だった私は、手術後に人と会うことはあまりありませんでした。会うとしても、それは何か問題が起きたときだけ……。今では、30年も前に私が手術をしたことを覚えている人たちと会ったり、その後の経過を話したりできます」

誤った情報とのたたかい

マッティさんは、長年のポリオ根絶活動の経験を生かして、ワクチンに関する誤情報や接種へのためらいに対応する活動もしています。待ち時間に人びとに話しかける機会を見つけては、ポリオアドボカシーの専門家としての知識を生かして、ワクチンの力と効果について話しています。

ヨーロッパでは、ワクチンに対する不信感から、まれなケースでもすぐに噂になってしまうそうです。例えば、アストラゼネカ製のワクチンの血栓の報告を受けて一時中止された後、どのワクチンを接種しているのか心配する人が増えたと言います。

ビルピさんは、ユーモアを交えながら人びとの不安を和らげることも大切にしています。

「昨日、ある男性から何を注射したのかと尋ねられたので、私は『全部だよ』と答え、『何かあったらチューブも刺し込んであげるよ』と言ってあげました」

5,000回以上の予防接種を行ったビルピさんは、「1万回になったら、あとは他の人にやらせよう」と提案。

マッティさんから返ってきた答えは、「1万になったら、2万をめざそう」でした…。



ロータリーニュース

次回〈8月6日〉の予定

新年度挨拶

出席、職分・会選、会報、親睦、雑誌、会増